

町会連だより

■編集・発行
福島市町内会連合会

■事務局
福島市地域共創課
電話 024(525)3731

こけし育む 健康・湯の里 土湯 住んで居る、訪ね観る、誰もが憩う光るまち

地区連合会活動紹介⑭ 【土湯温泉町町内会連合会】

私たちの地区を
紹介します！

土湯温泉町町内会連合会について

当町内会連合会は、町内会数10町内会、加入世帯数107世帯、人口約320人で構成されています。

小規模町内会をまとめ、婦人会・消防団・観光協会などと協力役割分担しながら地域の課題に取り組んでいます。

定住人口減少、少子・高齢化、空き家等の問題を抱えながらも、地域コミュニティづくりを進め、安全安心を実感できる、心豊かできれいなまちづくりを推進します。

土湯温泉町について

土湯温泉町は、清流と温泉と豊かな自然のもと、多くの観光客が訪れる観光地です。その歴史は決して順風満帆ではなく、水害や大火など数々の災害に見舞われながらも、地域が一致団結し、復興してきました。昭和2年の大火では50戸、昭和29年の大火では70戸以上の家屋等が焼失しましたが、先人たちが苦難を乗り越え、復興し再生しました。彼らの思いを受け継ぎ、今でも地域は協力し合いながらさまざまな課題に取り組んでいます。その際には、「自助、共助、公助」という価値観を大切にし、課題の克服を目指しています。

花いっぱい運動

3月、土湯温泉町地区では磐梯朝日国立公園内の花々が次々と開花していく春の花リレーが始まります。これを祝い、住民や観光客が集う場所に花苗を植栽し、設置しています。

7月には夏の花リレーとして、地域の美化活動が展開されます。花苗を植栽するとともに、街中の舗道を中心に清掃活動が行われます。



花植えの様子

つつゆ盆踊り

8月、地域コミュニティ等支援事業補助金を活用して、「伝統芸能保存と次世代への継承事業」として取り組み、土湯温泉町の夏の風物詩「つつゆ盆踊り」を支所前広場で開催。

多彩な催しが行われ、老若男女、笑顔と踊りの輪が広がりました。



盆踊りの様子

防災訓練

10月、実行委員会が組織され、地震時の避難所として指定される土湯温泉町支所の駐車場で訓練が行われました。

訓練では、震度6強の大地震、建物倒壊、火災、断水などの状況を想定して実施されました。約30名の参加者が各町内会や旅館施設から集まり、福島南消防署信夫分署長の防災講義を受講した後、AED（自動体外式除細動器）訓練やCPR（心肺蘇生法）訓練、消火訓練が行われました。

参加者には簡易消火器、アルミブランケット、給水袋、非常食などが配布され、非常時に備えるための「ローリングストック」など、日常生活での備蓄品の使用と補充の重要性が呼びかけられました。



防災訓練の様子



令和6年度(後半期)の主な活動内容



1 活力ある地域づくり実現のために ―要望活動―

令和6年12月25日(水)福島市役所において、当連合会の正副会長から町内会等への支援強化について要望を行いました。

佐藤守連合会長は、要望書の手交にあたり「町内会への加入率は年々減少傾向にあり、町内会を取り巻く環境は厳しさを増している。町内会役員の負担軽減や事業の見直しなど、コロナ禍を経て時代に合った運営への切り替えを図っているが、近年の物価上昇は更なる町内会費の圧迫、運営の制限に繋がっており、快適で住みよい地域社会の実現、さらには地域コミュニティの推進に支障をきたしてきている。当連合会は、引き続き各地区との連携・情報共有を密にし、町内会加入促進の取り組みをより一層推進させるほか、コロナ禍により希薄となった地域コミュニティを繋ぎなおし、活力ある地域づくりの実現のため、今後も住民自治の発展に努めて参りたい。」と語りました。

これに対し、木幡市長からは「町内会の皆さん、特に役員の皆さんにはいろんな面で多くの仕事をしていただ

き感謝申し上げます。我々も皆さんの負担が非常に大きくなってきていることを重々承知しており、そのためにもいろんな政策として、回覧板を回す負担を軽減するため電子町内会や、今年度は高齢化の比率が高い蓬萊地区に自動草刈機を導入し貸し出すことを始めた。これからも町内会の自治が機能すると同時に、皆さんの負担軽減ができるよう図っていきたいと思う。」とのコメントをいただきました。

要望の結果について

令和7年度の各種交付金の増額が決定しました。

- 町内会等交付金
世帯割額：770円から 790円へ増額
- 地区町内会連合会交付金
世帯割額：63円から 64円に増額

※両交付金とも、均等割額に変更はありません。



要望書手交時の様子



意見交換の様子

2 各地区の課題解決に向けて ―市政研修会―

令和6年10月8日(火)福島市役所清水支所において、各地区連合会長など23名参加のもと、市政研修会を開催いたしました。

今年度の研修内容は、役員会において町内会が抱える課題について情報共有し、市の重点施策をメインに協議を行い、「電子町内会推進事業」と「河川水位予測システム」の2項目としました。

「電子町内会推進事業」とは、市からの情報を町内会へ迅速に伝達することや、町内会活動の情報発信を推進し、地域コミュニティの維持・活性化を図ることを目的としています。講義では、事業開始に至った経緯、デジタル化によるメリットのほか、参加町内会の取り組みなどについて説明を受けました。参加町内会からは、データによる回覧は市から紙で郵送される場合と比べ、1週間程度回覧開始が早くなった、情報が一斉に配信できて楽になったという意見がある一方で、データによる回覧体制の構築が難しい、スマホでは画面が小さく見づらいなどの課題や問題があることがわかりました。また、電子町内会推進アドバイザーの方にもお越しいただき、参加者から質問のあった町内会が抱えているデジタル化に関する課題や疑問について、専門的な知識やこれまでの経験をともに助言をいただきました。

そして、もう1つの研修項目となった「河川水位予測シ

ステム」とは、ゲリラ豪雨や線状降水帯といった局所的な豪雨に係る避難情報発令の迅速化を図るため、リアルタイムかつより正確な水位予測情報の取得を目的に導入されました。講義では、システムの特徴や導入に伴う効果のほか、市の情報収集及び情報発信体制などについて説明を受けました。近年、全国的にも局所的な豪雨が頻発し、甚大な被害をもたらす可能性が高いことから、人的被害を最小限に抑える取り組みの重要性について再認識しました。

今回の研修を通して、地域、そして町内会としてどのようなことに取り組んでいけるかを考える有意義な時間となりました。今後も、様々な研修会等を開催し住民自治組織、そして地域の課題解決に繋がるよう、会員の資質向上に努めてまいります。



研修会の様子

3 町内会活動の活性化を目指して —先進都市視察研修—

令和6年11月20、21日の2日間、各地区連合会長など20名参加のもと、先進都市視察研修を実施しました。

今年度は、コロナ禍により中止や規模縮小を余儀なくされた町内会活動の再開・活性化への手掛かりを得るため、様々な取り組みを行っている新潟県長岡市の下々条町町内会を視察することとしました。



研修時の様子

下々条町町内会は、古来より続く農村地域に工場の誘致とともに新興住宅地が増えていった地域で、多世代約1,000世代、2,800人が生活しており、講師を引き受け

ていただいた大竹祐介会長は、40代で町内会長に就任しています。会長からは、若くして町内会長に就いた経緯、そして町内会運営に対する想いやこれまでの取り組みについて説明がありました。

今回の研修では、より多くの人に興味・関心を持ってもらうため、町内会活動の「見える化」をすること、そして多世代交流の機会を作るために、これまで町内会が築き上げてきた文化や伝統の趣旨を理解しつつ、現代の手法に合わせて実施することが重要だと学びました。次年度も地域の課題解決や組織活性化に向け、先進事例の調査・研究に努めてまいります。



アオーレ長岡での集合写真

下々条町町内会の取り組み例

重要なことはしっかり伝える！ ～「知らない」は不満の原因に～

- ・会員から「会費が何に使われているかわからず、払いたくない。」と言われた。総会資料を回覧し、周知するようにはしているけど…

Point!

- ・回覧はしているけど、隣人に迷惑をかけないよう回覧板を早く回すため、資料がほとんど見られていないことがわかった。
- ・回覧すれば、全会員へ周知できるものだと思い込んでいた。

重要なこと（収支決算・予算）を全世帯配布の広報紙に掲載し、周知の機会を増やしたことで、多くの会員から理解を得ることができた！

やめた(なくなった)ことを改めてやってみる ～文化の継承と愛着ある地域へ～

- ・規模縮小していた「花見」を、昔ながらスタイルで桜の木の下で実施してみることに。

Point!

- ・年配の人は懐かしさから、若い人は経験したことがない「昔ながらのスタイル」が新鮮で多くの人が集まった。
- ・昔話に花が咲き、これまで語り継がれなかった地域の歴史などを知るきっかけに。

準備に手間はかかるが、これまで以上の多世代交流に繋り会員間の親睦が深まったほか、地域を知ってもらう貴重な機会となった。

4 各地区との連携強化のために —新年会・視察研修報告会—

1月15日（水）ホテル福島グリーンパレスにおいて、新年会を開催いたしました。

各地区連合会長など53名が出席し、来賓として市長、市議会議長、副市長にご臨席いただきました。

佐藤守連会長は「町内会が抱える課題の解決に向け、各種事業に積極的に取り組んでいく。」と話し、引き続き各地区一丸となって、明るく住みよい地域社会の実現を目指していくことを確認しました。

また、新年会の前段では、昨年11月に開催した先進都市視察研修（同ページ上段参照）についての報告を行い、追加資料をもとに研修内容について情報共有しました。



新年会の様子

令和7年度

～ 保険料および補償内容の確認・検討をお願いいたします ～

町内会活動総合補償制度が変わります！

当連合会では、町内会の皆さんが年間を通じてより活発に、そして安心して町内会活動に参加できるよう、町内会が行う清掃活動やスポーツ、文書配布などの活動中における怪我や他者（物）に対する損害に備え、「町内会活動総合補償制度」への加入を推奨しております。

しかしながら、当制度につきましては次期の契約となります令和7年度分から、これまでの補償内容で契約を継続することが困難となりました。

現在、新たな契約の調整中であることから、4月以降に改めて各町内会へ詳細な案内をさせていただきます。



■ 直近5年間の事故報告件数 ※令和6年度は令和7年2月28日現在

活動区分	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	傷害	賠償	傷害	賠償	傷害	賠償	傷害	賠償	傷害	賠償
清 掃	1	2	10	1	9	2	6	3	1	1
ス ポ ー ツ	8		6							
文 書 配 布			2		5		1		1	
お 祭 り	1		3		6					
そ の 他	1		3		3		4		4	
合 計	11	2	24	1	23	2	11	3	6	1



皆さんの町内会活動を教えてください！紹介させてください！



町内会では快適住みよいまちをつくるため、地域に住む人々がお互いに助け合い、交流イベント、環境美化活動、防災訓練、防犯パトロールなどの様々な活動を行っています。

しかしながら、現在の町内会は加入世帯の減少や担い手不足など多くの課題に直面しているほか、コロナ禍により規模を縮小した活動がなかなか再開できない町内会も見受けられ、「どういった活動・運営をすればよいかわからない」という声が聞かれます。

そこで、当連合会では町内会活動の活性化、負担軽減につながった皆さんのアイデアや取り組みを教えてください、この「町会連だより」で紹介したいと考えております。

つきましては、皆さんの町内会から紹介可能な以下の活動がありましたら、情報提供いただきますようお願いいたします。

- ・これまでより参加者が増加した活動・取り組み
- ・多世代間の交流に繋がった活動・取り組み
- ・役員や会員の負担軽減につながった活動・取り組み
- ・デジタル化への取り組み
- ・町内会への加入促進に向けた活動・取り組み など

※記事として掲載させていただく際は、改めて事務局から連絡いたします。

情報提供の件数が多い場合、事務局にて掲載記事を選定させていただきますのでご了承ください。

掲載内容および情報提供方法

掲載内容は「町内会名」「活動のタイトル」「説明文」「写真」とさせていただきます。

各項目の注意点および情報提供の方法は以下のとおりとなります。

1 活動タイトルについて
35文字以内としてください。

2 説明文について
300文字以上800文字以内としてください。
※800文字を超える場合には事前にご相談ください。

3 写真について
2枚以内としてください。
なお、ご提供いただく写真は「町会連だより」へ掲載されることに承諾を得られているものとしてください。

4 情報提供の方法
専用の入力フォームから掲載内容を事務局へ送信してください。
※入力フォームへのアクセスが困難な場合はご相談ください。

【入力フォームのQRコード】

